

三条市過疎地域持続的発展計画の成果指標及び達成状況の評価について

R4. 7. 28 市民部地域経営課

1 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（以下「新過疎法」）について（令和3年度協議会資料掲載事項の再掲）

【公布・施行】

令和3年3月31日公布、4月1日施行

【概要】

一定の要件を満たす市町村を過疎地域とし、期限を設けて特別措置を講じる法律
（目的）

人口の著しい減少等に伴って地域社会における活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備等が他の地域に比較して低位にある地域について、総合的かつ計画的な対策を実施するために必要な特別措置を講ずることにより、これらの地域の持続的発展を支援し、もって人材の確保及び育成、雇用機会の拡充、住民福祉の向上、地域格差の是正並びに美しく風格ある国土の形成に寄与することを目的とする。

三条市は下田地域において新過疎法上の過疎地域の要件を満たすため、「特定期間合併市町村に係る一部過疎」として令和3年4月1日付で公示された。
※新潟県内の新たに一部過疎となった市町村…五泉市、阿賀野市

2 過疎地域持続的発展計画について（令和3年度協議会資料掲載事項の再掲）

過疎地域の市町村は、県が国の同意を得て定めた方針に基づき、**市町村議会の議決を経て「過疎地域持続的発展市町村計画」を定めることができ、計画が策定されると以下のような特別措置を受けることができる。**

（主な特別措置）

- ① 過疎対策事業債（充当率100%、元利償還金の70%を交付税措置、**ソフト事業の発行も可能**）
対象地域：下田地域全域
- ② 国庫補助事業の補助率かさ上げ（ex. 保育所又は認定こども園の設備新設等）
- ③ 税制措置
 - ・ 所得税、法人税に係る減価償却の特例
 - ・ 地方税（不動産取得税、事業税、固定資産税）の課税免除に伴う減収補填措置
※固定資産税の課税免除を適用するためには地方税法第6条の規定に基づく課税免除等のための**条例を制定しなければならない**。（不動産取得税、事業税は県税のため、県で条例制定）

特別措置を活用することで、下田地域において地域の実情に応じたより効果的な施策を講じることができることに加え、三条市全体の持続可能な地域社会の形成にもつながる

三条市として過疎地域持続的発展計画を策定済み（令和3年度9月）

3 過疎地域持続的発展計画における成果指標について（新規事項）

総務省の通知によれば、過疎対策の実効性を向上させるため、各分野の目標を設定するとともに、達成状況の評価を行うこととされている。

令和3年度に策定済みの本計画に係る成果の指標及び進捗率は別紙のとおり。

章	項目	成果指標		三条市全体			うち下田地区			下田地区における進捗			
		指標名	指標の説明	年度	数量	単位	年度	数量	単位	数量	単位		
2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	1 移住・定住	下田郷の豊かな自然に特化した情報が各メディアに掲載された件数	ものづくりと下田郷の豊かな自然に特化した情報が各種メディアに掲載された件数を指標に設定し、令和4年度には325件とすることを目標とする。	現状値	H29	200	件	H29	141	件	R3年度実績(単年度)	174	件
		地域おこし協力隊退任後の定住率	地域おこし協力隊が、退任後も三条市に定住することを指標とし、現状全国平均より高い数値となっている定住率57%を、令和4年度にはさらに5%増の62%とすることを目標とする。	現状値	H30	57	%	H30	44	%	R3年度実績(累計)	38.0	%
	2 地域間交流の促進	下田地域の交流拠点施設の利用客数	自然体験、文化、教育など様々な分野で下田地域の持つ地域資源をいかした交流事業を行うことで、他地域との交流人口の増加につなげる。	現状値	R2	188,528	人	R2	188,528	人	R3年度実績(単年度)	190,185	人
		下田地域における古民家の来場者数	下田地域の豊かな自然を体感してもらうため、古民家での宿泊事業等を運営する事業へ補助を行うことで、他地域との交流人口の更なる増加につなげる。	現状値	R2	112	人	R2	112	人	R3年度実績(単年度)	509.0	人
	3 人材育成	下田地域起業家誘致コーディネート委託事業による起業家数	起業家育成ノウハウを持つ企業や専門人材と連携し下田地区で起業家等育成事業を展開する。	現状値	R2	0	人	R2	0	人	R3年度実績(累計)	4	人
				目標値	R4	4	人	R4	4	人	進捗率	100	%
3 産業の振興	2 地場産業の振興	下田地域起業家誘致コーディネート委託事業による起業家数(再掲)	起業家育成ノウハウを持つ企業や専門人材と連携し下田地区で起業家等育成事業を展開する。	現状値	R2	0	人	R2	0	人	R3年度実績(累計)	4	人
				目標値	R4	4	人	R4	4	人	進捗率	100	%
	3 農業の振興	付加価値の高い栽培方法(有機栽培、減化学肥料・減農薬栽培)による米の作付面積	付加価値を付け、販売単価を上げるとともに、環境負荷の軽減を図るために農業や化学肥料の使用を抑えた特別栽培米、有機栽培米の取組を支援する。	現状値	R3	39,088	a	R3	6,312	a	R3年度実績(累計)	6,312	a
				目標値	R6	42,997	a	R6	6,944	a	進捗率	90.9	%
		人・農地プランの取組等による担い手への農地の集積率	人・農地プランに基づき地域における話し合いを推進するとともに、担い手への農地集積や組織化への取組を支援する。	現状値	R1	66.1	%	R1	25.9	%	R3年度実績(累計)	25.4	%
				目標値	R5	70	%	R5	40	%	進捗率	63.5	%
	農業用機械導入補助金等を活用し経営拡大を図る農業経営体数	安定した農業経営を図るため、収益向上に向けた園芸作物の栽培や、規模拡大に必要な農業用機械等の導入を支援する。	現状値	R1	13	経営体	R1	8	経営体	R3年度実績(累計)	13	経営体	
			目標値	R5	70	経営体	R5	20	経営体	進捗率	65.0	%	
	4 林業の振興	木質バイオマス発電所への市内産木材供給量	木質バイオマス発電所への間伐材等の供給量の増加は林業の活性化と雇用の創出にも資することから、市内産材の燃料供給量を令和4年度までに14,200トンとすることを目標とする。	現状値	H29	3,838	トン	H29	3,450	トン	R3年度実績(単年度)	3,271	トン
				目標値	R4	14,200	トン	R4	10,000	トン	進捗率	32.7	%
5 観光・レクリエーション等の振興	下田地域観光入込客数	下田地域に訪れる観光客数を指標に設定し、三条市の魅力である下田郷の豊かな自然を発信していくことで令和4年度に68万人とすることを目標とする。	現状値	R29	58	万人	R29	58	万人	R3年度実績(単年度)	48.3	万人	
			目標値	R4	68	万人	R4	68	万人	進捗率	71.0	%	
4 地域における情報化	地域における情報化	情報リテラシー向上のための各種研修会の開催回数	様々な分野において、情報システムの利活用が進み、通信手法等が多様化・高度化しているため、利用者が安全・確実にICTを利用できるように、リテラシーの向上を図っていく必要がある。今後はICT利活用のための情報発信を適宜行うとともに、リテラシー向上のための各種研修会を定期的に実施していくこととする。	現状値	R2	44	回	R2	2	回	R3年度実績(単年度)	2	回
				目標値	R4	78	回	R4	6	回	進捗率	33.3	%
5 交通施設の整備、交通手段の確保	2 交通手段	デマンド交通利用者数	デマンド交通ひめさゆり利用者の利便性向上と外出機会の創出を目的に、デマンド交通を土日祝日も含めて毎日運行を実施する。	現状値	H28	72,698	人	H28	6,613	人	R3年度実績(単年度)	4,306	人
		目標値	R8	83,000	人	R8	7,550	人	進捗率	57	%		
		高校生通学ライナーバス利用者数	下田地域～東三条駅～市内2校を運行している高校生通学ライナーバスの利用を促進するため、年度末における中学校卒業生へのチラシの配布に加え、機会を捉えて高校生にもチラシを配布するなどして事業の普及を行う。	現状値	H28	6,062	人	H28	551	人	R3年度実績(単年度)	785	人
		目標値	R8	6,050	人	R8	549	人	進捗率	100	%		
6 生活環境の整備	1 水道施設	R3年度以降の累計管路更新延長	管路の漏水事故等による市民生活への影響を未然に防止するため、昭和30年代から昭和40年代にかけて埋設した耐震性の低い石綿セメント管や濁り水、水圧低下の発生原因である老朽錆鉄管の更新を優先的に進めていく。	現状値	R2	-	km	R2	-	km	R3年度実績(累計)	2.6	km
				目標値	R7	25.4	km	R7	7.5	km	進捗率	34.7	%
	2 汚水処理施設	下水道ストックマネジメント計画に基づく維持・修繕等の進捗率	下水道ストックマネジメント計画に基づく事業進捗率を指標として設定し、令和4年度に進捗率を63.4%とすることを目標とする。	現状値	H29	20	%	H29	0	%	R3年度実績(累計)	5.0	%
				目標値	R4	63.4	%	R4	49.6	%	進捗率	10.1	%
7 子育て環境の整備、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	2 子育て環境の整備	しただの郷学園エリアの未満児入所見数	平成30年度に実施した「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」の結果や現在の幼児期の学校教育・保育の利用状況等を総合的に勘案して目標を設定する。	現状値	R2	92	人	R2	92	人	R3年度実績(単年度)	90	人
				目標値	R6	89	人	R6	89	人	進捗率	100	%
	3 障がい福祉	月当たり計画相談支援 実利用者数	サービス等利用計画の作成を一層促進するため、相談支援事業所の増加及び相談支援専門員のスキルの向上に取り組んでいくとともに、地域相談支援体制の整備や充実を図る。	現状値	R2	146	人	R2	6	人	R3年度実績(単年度)	6	人
				目標値	R5	222	人	R5	9	人	進捗率	66.7	%
4 保健	社会参画活動を行っている65歳以上の人の割合	社会参画機会拡大のための核となるセカンドライフ応援ステーションの機能拡充や、様々な主体による「集いの場」の拡大・充実、公共施設の魅力向上、人が人を誘う仕組みの構築などにより、何らかの活動に週1回以上参加している高齢者の割合を増やす。	現状値	H29	55	%	H29	60	%	R3年度実績(累計)	令和4年度に高齢者実態調査で把握予定		
			目標値	R5	60	%	R5	60	%	進捗率			
8 医療の確保	医療の確保	三条ひめさゆりネット登録者	在宅療養者への包括的なケアの提供を確保するため、医療、介護、障害福祉の多職種が連携し資源を補完しながら効率的・効果的な支援を提供できる体制を構築する。連携においては、支援関係機関が迅速に情報共有し、状況に応じた的確なケアが提供できるよう、情報共有ネットワーク(三条ひめさゆりネット)の利用促進を図る。	現状値	R2	2,109	人	R1	221	人	R3年度実績(累計)	302	人
				目標値	R5	5,300	人	R5	556	人	進捗率	54.3	%
9 教育の振興	2 生学、社会教育、スポーツ	高齢者事業の参加者数	元気な高齢者が地域社会の担い手として活躍するため、潜在意識や活動意欲を引き出すことができる学習機会の充実に努める。	現状値	R3	1,497	人	R3	103	人	R3年度実績(単年度)	103	人
				目標値	R4	1,500	人	R4	110	人	進捗率	93.6	%
10 集落の整備	集落の整備	自治会内の共同作業や祭り等の維持・存続率	平成30年度に実施した下田地域における集落座談会の結果では、コミュニティを存続させるために必要な江浸いを始めとした共同作業や祭り等について、現状では維持できていることから、令和4年度においても引き続き現状の100%実施とすることを目標とする。	現状値	H30	100	%	H30	100	%	R3年度実績(単年度)	100	%
				目標値	R4	100	%	R4	100	%	進捗率	100	%
11 地域文化の振興等	地域文化の振興等	指定・登録文化財件数	地域の過疎化、少子高齢化を背景に失われつつある文化遺産を新たに保存・活用できるようにし、地元への帰属意識や愛着心の醸成を図るために指定・登録文化財の件数を指標として、令和4年度までに指定・登録文化財件数を87件とすることを目標とする。	現状値	H26	69	件	H26	17	件	R3年度実績(累計)	20	件
				目標値	R4	87	件	R4	21	件	進捗率	95.2	%
12 再生可能エネルギーの利用の推進	再生可能エネルギーの利用の促進	間伐材、林地残材の年間利用量	間伐材等を活用した再生エネルギーの創出のため、木質バイオマス発電所で活用する間伐材・林地残材の年間利用量を令和4年度までに21,708tとすることを目標とする。	現状値	H25	374	t	H25	374	t	R3年度実績(単年度)	2,826	t
				目標値	R4	21,708	t	R4	21,708	t	進捗率	13.0	%